

# 健康経営 健康関連コスト3

2020.5.12

## 1. 健康関連損失コスト

中小企業にとっても従業員の体調不良による損失コストを把握することは重要です。これまで日本の企業は、経営状態を把握するために財務諸表を中心に戦略を立案して企業を運営していましたが、これからは「**見えないコスト**」である**健康関連コスト**を加えると、働き方改革や健康経営の指標として従業員の**パフォーマンス向上**が実現出来るようになりなります。

## 2. アブゼンティーズムとプレゼンティーズムの生産性損失コスト

では具体的に生産性損失コストについて解説します。

いつもは90%くらいの職務遂行能力で働いているAさんとBさんが、心身の調子が悪くなり、集中力や思考力が低下して、二人とも**60%の職務遂行能力**になりました。

1ヶ月の労働日を20日と仮定して、次のAさんとBさんの対応では、**どちらが生産性コストの損失が大きいですか？**

この場合1日の賃金は**14,000円**とします。

### ●Aさん

能力は60%まで落ちているが、毎日出勤して仕事を頑張る。

### ●Bさん

心身の不調を回復させるため、3日間休んで、能力を90%にまで回復させてから、残りの17日間を頑張る。

さて、AさんとBさんの対応で生産性損失コストが高いのか？

### ●Aさんのプレゼンティーズム損失割合は30%

$14,000 \text{円} \times 20 \text{日} \times 30\% = 84,000 \text{円}$ のプレゼンティーズム損失コスト

### ●Bさんのプレゼンティーズム損失割合は0%

Bさん  $14,000 \text{円} \times 17 \text{日} \times 0\% = 0 \text{円}$ のプレゼンティーズム損失コスト

Bさんは  $14,000 \text{円} \times 3 \text{日 (欠勤)} = 42,000 \text{円}$

Bさんはアブゼンティーズム生産性損失コストで42,000円(3日分)となります。

1日も休まずに皆勤したAさんの方が3日間休んだBさんより生産性損失コストが高くなります。プレゼンティーズムの損失割合による損失コストは専門機関（WHO）による様々な研究の結果から明らかにされ、このように貨幣換算することができます。

### 3. 従業員のパフォーマンス低下による損失

現代において、日本人の2人に1人は何らかの睡眠の問題を抱えています。不眠症は、日中のパフォーマンスを著しく悪化させ、金額にして年間25万円以上の生産性損失をもたらし、また、アクシデントやミスの発生確率を1.4倍にすることが知られています。また寝酒など、好ましくない生活習慣は、日中パフォーマンスの低下のみならず、将来の認知症リスクを2.5倍以上に増加させます。従業員の健康に対して効果的な施策を行わないことは、上記のような、将来の疾病に結びつき、そして日々のパフォーマンスも低下させる心身の問題や生活習慣病を誘発することになります。

普段から従業員の高齢化や生活習慣に配慮した取り組みが必要になります。

### 4. 企業は公の器

現在日本は少子高齢化の影響を受け企業経営の在り方を変えつつあります。中小企業においても新型コロナウイルスも重なり益々人の健康維持・増進がクローズアップされ、働く環境を整えながら公私共にバランスの取れた働き方を考える必要があるでしょう。

健康経営は、政府の施策でもありますが成熟した日本企業が持続可能な事業として生き残るために必要な経営戦略でもあるように感じています。事業の規模を問わず多くの中小企業が参加して活気溢れる企業を目指し「公の器」として発展することを期待しています。



真心を込めて創造と解決を共に考えます

「人も会社も成長するためには健康で元気が一番！」



碧(あおい)M企画

代 表:渡嘉敷 忠

資 格:産業看護職(看護師)

第一種衛生管理者

ストレスチェック実施者(厚生労働大臣指定する研修受講)

健康経営エキスパート・アドバイザー(東京商工会議所認定)

Mail:[aoi.mkikaku@a.email.ne.jp](mailto:aoi.mkikaku@a.email.ne.jp)

